

グリーンパーク熊取だより

平成28年度夏号 広報紙vol.77 2016.7.7 発行 NPO法人グリーンパーク熊取 tel.072-453-5556 www.greenpark-kumatori.com/



●パーク工房

定番の「竹ぼっくり」であそぼう♪



●夏休み子ども自然教室

～今年も和田山で思いっきりあそぼう♪～

●ペットボトルでドングリおとし 8月6日(土)

ペットボトルとどんぐりを使っておもちゃを作るよ。
どんぐりを小さな穴に順に落としていって、ゴール♪
好きな絵や文字を書き手作りのおもちゃであそぼう。



●ザリガニ・魚たちとあそぼう 8月7日(日)

いろいろな水生生物を集めてまっています！
さわる！じ〜とながめる！
今回のスターは、
大きいクサガメです♪



●水てっぽうであそぼう 8月20日(土)

今年も竹で水てっぽうを作ります。
さあ、誰のが一番飛ぶかな？
標的に向かってシュッパァーッ！
暑さを吹き飛ばして、みんなであそぼう。

●葉っぱの“ふしぎ” 楽しく解明 8月21日(日)

和田山で見つけたこの葉っぱ。
おや？ おにぎり、手のひら、
鳥のカモの足、アンパンマン、
いろんな形があるね。
みんなで楽しく調べよう。
自分だけのしおりもつくろう。



●みんなおいで♪ ～イベント情報～

★大菊の福助仕立てに挑戦

7月9日(土)
7月30日(土)
9月3日(土)

★川たんけん

7月24日(日)

★夏休み

子ども自然教室
8月6.7.20.21日

★初秋の

野外活動体験塾
9月10日(土)
大阪体育大学野外活動部
によるウォークラリーもお楽しみに♪



★熊取町の行事にも 協力しています！

7/16(土)18(祝)中家セミの羽化の観察
7/23(土)元気広場 冷やしソーメン
9/24(土)元気広場 クリームシチューとパン

夏のおすすめ“本”

「川あそびブック」

ブロンズ新社
★特徴をとらえた
迫力の生きものたち。
分かりやすい解説も
とても楽しめます。
(グリーンパーク蔵書)



和田山をたのしむ

★夏の散策紹介★

△1~△15 は散策道の案内表示番号です。
ご紹介した生物は持ち帰らず、自然の中で楽しみましょう。
※和田山山頂への登り口は△13/△9/△11です。

和田山の魅力は何と言っても頂上から眺めるパノラマの景色だろう。特に関西空港からの飛行機の離着陸を見ているとあっと言う間に時間がすぎてしまう。短時間で登れ喜びが大きい山である。



②ヒマワリ

暑い夏の光りを浴びて、すくすくと育ち、大輪の黄色い花を咲かす。堂々とした風格の花に、万人が魅了される。



②エノキ

ふれあい広場から和田山に上る階段の右側の樹木だよ。名前の由来は、「エ」は枝のことで、枝の多い木から付けられた、という説があります。見ると、ほんとに枝が多いですね。

③カワラヒワ

市街地の川原の草地で観察されるのでこの名がある。ヒマワリなどの種子を、太いピンク色の嘴でついばむ。飛ぶと黄斑色が目立つよ。



④オンブバッタ

下の大きいのがメス、上がオスで、バッタは、イネ科のなかまの草を好んで食べるけどオンブバッタは、いろんな草を食べる。耳は腹の部分にあるよ！

⑤スジエビ

近頃、別所池や東谷池でモンドリを仕掛けても、スジエビは全く入らなくなりました。バスなどの外来魚に食べ尽くされたのか？！



和田山を楽しみしょう♪
このコーラー用紙もエントランスにおいてあります。
和田山▲頂上へは

資料・挿絵 提供・野草樹木昆虫G 野鳥G
水生生物G 里山保全G
構成・事務局広報部広報紙担当

【イベントだより】

和田山パークまつり 4/29開催

200人分の竹の子料理ができるまで

一日目、18名でタケノコ山にて軽トラ一杯の竹の子を掘り出し、皮むきして、大鍋にぬかと唐辛子を入れて丸ごと茹で上げ冷ましてから米ぬかをタケノコから洗い流します。バケツに水と、タケノコを入れ上面をラップして暗所保存。

二日目三日目とタケノコの薄皮をはがし残っている米ぬかの洗浄を繰り返し水を入れ換える。

四日目、食べやすい大きさにカットして湯がいた後、水切り、大鍋でしっかりと味付ける。

五日目のまつり当日は、朝にタケノコを加熱し味液を切り、袋にかつお節とタケノコを入れ混ぜ合わせ、器に盛り付け、タケノコの土佐煮の出来上がり、さあ～召し上がれ♪



野草コーナー案内

野草の「のこのこラリー」ポイントは、ふれあい広場を出て左側の道から東谷池に向かい、トグのある木(タラノキ)を見つけて、次に階段を左に上り、緑の小道にて「いろはもみじ」の木の場所で、シールをゲットして、ふれあい広場に戻ります。「食べられる野草」コーナーでは多くの方が、熱心に説明を聞いていました。でも子ども達は、カード漁獲狙いのシールをもらうのが目的、耳には届かない様子だった。野草の苦葉は柔らかくてビタミンが豊富な事を理解してもらいました。

ヤッホーポイントと下草刈り体験

和田山山頂からの展望と栗広場の下草刈りを体験していただいた。和田山山頂展望は前日の悪天候とは様変わりして快晴で、遠くは明石海峡大橋、アベノハルカスも一望出来た。下草刈りは子ども達から年配の方々も挑戦。中には手慣れた方もいらして見事な仕上げり！皆さんに里山保全を体験してもらえました。



生き物と遊ぼう！

カワムツ、スジエビ、サワガニなど熊取の水生物を展示し、生き物と遊びたい子どもたちでにぎわいました。ザリガニをつかめたと自信たっぷりの笑顔。さかなたちをじーっとながめていると、ヒレを自由に動かし鳥のように3Dの世界がひろがります。昔のガキたちは、さかなを追っかけて水のなか。時にはその命を遊びの中で奪ったこともあったが、大人になって命の大切さを知る土台となった。「生き物ともっと遊ぼう！」と子どもたちを応援したいなあ！

【みつけた】

今回のみつけたは四国最南端、足摺岬の話です。四国八十八ヶ寺詣りの三十八番札所金剛禪寺、この岬の先端に白くそびえたつ灯台が有名な足摺岬灯台です。この地にて立って海を眺めると、地球が丸い事がわかります。今回の話は、この近くにある足摺七不思議のポイントのひとつ「亀呼台」です。その昔、弘法大師、空海が沖の荒磯に渡るときに亀を呼び背中に乗って、渡ったと伝えられています。私も半信半疑で岸壁より30メートル程下の荒海に向かい「亀さ～ん」と呼びました。暫くすると、なんと、波打ち際に亀が浮かび上がって来たでは有りませんか。驚くやら、笑うやら信じられませんでした。この原稿を書くにあたり、土佐清水市観光課に問い合わせると、今も天候の良い時には姿を見せてくれるとの事。皆さんも、この地に旅行に行かれたら「亀さ～ん」と呼んでみてください。尚、双眼鏡等があれば、ハッキリ確認できますよ。

【四季のであい】～春～

- ★ご存知でしょうか、フロッコリー。構いすぎると痛い目にあい(守ろうと袋掛けすると虫たちの温床となります)放置すると(アフロ並みに花が咲き)どえらいこととなります！畑で茂りまくった花の塊がそれです！
- ★さや池で息絶えたウサギ。兎骨となり生態観察に一役買う。
- ★和田新池ではサルに出会いました。
- ★まだまだ自然がいっぱいの熊取です。テンにも出会うことができますよ♪
- ★ふれあい広場の管理棟では只今ツバメたちが次々と巣立っています。上手に飛んでいたら親。ちょっとおぼつかなかったら兄妹。途中でへばっていたら巣立ちたて。巣にはまだ黄色い口を広げた弟妹がいます。

【フィールドノート】

天下無敵の外来種と
いなくなった里山の生き物たち



1960年代の熊取町のため池には、ヨシノボリ・コイ・ゲンゴロウブナ・ギンブナ・スジエビ・テナガエビ・モツゴ・タモロコ・クサガメ・イシガメなどなど「うさぎ追いしかの山、こぶなつりしかの川...」の唱歌「ふるさと」の生き物たちであふれていました。時を同じくしてアメリカから時の皇太子によって持ち込まれた「プリンセスフィッシュ」と呼ばれることになるブルーギルが日本上陸。それから半世紀、現在のため池には、ブラックバスやブルーギル、ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)ばかり。1980年代以降のバス釣りブームで日本全国の池や川に違法に放流された結果です。

「釣り禁止」の警告のそばで、ルアーを投げるアングラー達。注意しても無視。そして場所を移動するだけ。「キャッチアンドリリース」は生き物にやさしい？らしい。しかし、その結果、熊取町の池や川の生き物たち(在来種)は姿を消していった。

「バス釣りブーム」を演出し、あおり「お金もうけ」にしたのは人間であり、バスやギルには責任はない。彼らだって生きている。じゃー「どうすれば良いのか？」琵琶湖のように外来種は釣ったら逃がさないようにするのか？(国では特定外来種として、捕獲・飼育・移動など法律で禁止している)

熊取町の豊かな自然を残し、維持し、守ることに役立つのは、私たちが少しでも身の回りの自然に関心を持つこと。みんなで考えること。少し実践すること。そして生き物と遊ぶ子どもたちの「歓声と笑顔」で、それを見守る大人たちも「元気」になるかも知れない。10年後20年後の熊取町がより豊かな自然にめぐまれるようにしたい。

【最近の出来事】

- 春の里山ハイキング 4/9
上高田から助谷の森、芝生広場、永楽池と歩く。
- バードウィーク 5/1 4
良すぎるお天気に野鳥たちはお籠り気味。
成合区でカワラヒワやホオジロと出会えました。
- さや池観察会 5/29
モンドリの中のでっかいドジョウやカワムツに大歓声！
- ゲンジボタル観賞会 6/11(12雨天中止)
多くの参加者が幻想的なゲンジボタルの光に感激♪
- 初夏の野外活動体験塾 6/18
- 全7回のアウトドア倶楽部が開講しました。

【平成28年度パークイベント一覧】

月	日	曜	イベントテーマ
4	9	土	春の里山ハイキング
	29	祝	水とみどりの和田山パーク ふれあいまつり
5	14	土	バードウィーク
	29	日	さや池観察会
6	11±12	日	ゲンジボタル観賞会
	18	土	初夏の野外活動体験塾
7	大菊の補助仕立てに挑戦		
	①7月9日(土) 菊のさし芽		
	②7月30日(土) 5号鉢へ鉢上げ		
	③9月3日(土) 開花までの管理作業		
8	24	日	川たんけん
	夏休み子ども自然教室		
	6	土	ペットボトルでドングリおとし
	7	日	ザリガニ・魚たちと遊ぼう
	20	土	水てっぽうをつくって飛ばしあい
9	21	日	葉っぱの“ふしぎ”楽しく解明
	10	土	初秋の野外活動体験塾
10	23	日	鳥とドングリ
	10	土	晩秋の里山ハイク
12	23	祝	しめ縄づくり
	1	土	七草粥と新春野草観察会
1	22	日	和風をつくろう
	2	土	炭焼き体験
2	18	土	野鳥観察会
	3	日	見出川クリーンアップ

●毎月第4土曜日くまもり元気広場 開催中

【その他の委託イベント】

7	16	土	中家親子自然教室 セミの羽化の観察
	18	祝	中家親子自然教室 セミの羽化の観察
11	5	土	熊取緑化フェア 町民文化祭
	13	日	環境フェスティバル 町民文化祭
	12	土	おおさか山の日
12	3	土	子ども広場
	4	日	農業祭

イベントは変更する場合がございます。お申し込みの際は開催内容詳細をホームページでご確認ください。

[グリーンパーク熊取 公式ホームページ](#)

検索

NPO法人グリーンパーク熊取

【2つの活動の柱】

環境の保全を図る活動
子どもの健全育成を図る活動



【活動の目的】

地域の人々や子ども達が自然とかかわり、触れ、楽しむ自然ふれあい活動を支援し、自然環境保全の大切さを共に学び、伝え、皆で保全活動を行い、より恵まれた自然環境を次世代に引き継いでゆくために、自然環境保全の増進に貢献・寄与することを目的とする。(定款より)